

第5節 社会教育施設

<社会教育施設の延床面積の削減目標>

分類	現在の面積 (㎡)	今後の面積 (㎡)	増減面積 (㎡)	増減率 (%)
図書館	1,989.3	1,855.1	▲ 134.2	▲ 6.7
公民館	12,626.4	8,025.7	▲ 4,600.7	▲ 36.4
博物館	2,519.6	1,855.2	▲ 664.4	▲ 26.4
その他社会教育施設	3,209.9	1,856.1	▲ 1,353.9	▲ 42.2
合計	20,345.2	13,592.0	▲ 6,753.1	▲ 33.2

公民館の集約化や博物館・その他社会教育施設のあり方見直し等により、33.2%の削減を目指します。

5-1. 図書館

(1) 施設概要

- 「図書館」は、図書、記録その他必要な資料の収集・整理及び保存を行い、一般公衆の利用に供し、その教養や調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした社会教育施設です。本市では市民が身近な場所で本を借りることができる場所として、文京公民館と富岡公民館、金田公民館畔戸分館を除く、公民館に図書を設置しています。
- 「恵春庵」は、平成20(2008)年度に寄贈を受けた図書館に隣接する施設であり、現在は絵本展示や各種サークル等の活動に利用されています。

図表2-49 図書館の一覧

施設No.	施設名	所在	避難場所指定	延床面積(㎡)		竣工年度	築年数(年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
59	図書館	文京2-6-51	指定なし	1,855.1	—	1974	42	RC造	診断予定	
60	恵春庵	文京2-6-6	指定なし	134.2	—	1973	43	W造	診断予定	

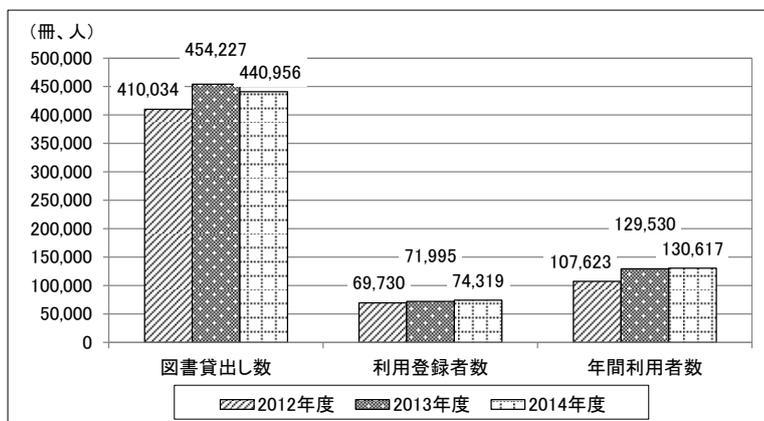
※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

(2) 現状及び課題

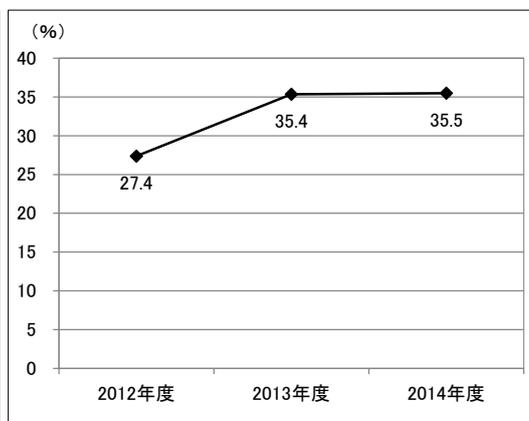
- 図書館及び恵春庵のいずれも、築後40年以上を経過しており、老朽化が進行しています。
- 図書館の利用状況を見ると、貸出数は平成24(2012)年度の41万34冊に比べて、平成26(2014)年度には44万956冊と約8%(約3万冊)の増となっています。利用登録者数は、同時期に約7%(4,600人)増、会議室の年間利用者数は約21%(23,000人)増となっています。
- 平成27(2015)年度に実施した市民アンケート調査では、図書館を「月に数回以上利用する」と答えた方は、約13%であるため、利用者をさらに増やすための施策が必要となっています。

- 現状、図書館から住まいが遠い方の利便性が低いため、設置場所を含めた検討が必要になっています。

図表 2-5 0 図書館の貸出冊数及び利用登録者数



図表 2-5 1 恵春庵の会議室稼働率



(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表 2-5 2**のとおり設定します。
- 利用者数を伸ばすには、本が借り易く、返却し易い環境を整えることが必要なことから、インターネット予約や、貸出し・返却方法の見直しを検討します。
- 現状、近隣市の図書館を多くの方が利用していることから、今後は、近隣市と図書サービスをどのようにしていくのかなど、連携して取組んでいきます。また近隣市との共同建設についても調査研究をしていきます。
- 電子書籍の普及状況などを踏まえながら、将来的に施設に頼らないサービス提供についても検討します。

図表 2-5 2 再配置実行プラン

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017~2026)		中期(2027~2036)		長期(2037~2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
59	図書館	1,855.1	■改修		■建替え(広域による共同建設も検討)			
60	恵春庵	134.2			■廃止	▲ 134.2		
計		1,989.3	短期(10年)	0.0	中期(20年)	▲ 134.2	長期(30年)	0.0

5-2. 公民館

(1) 施設概要

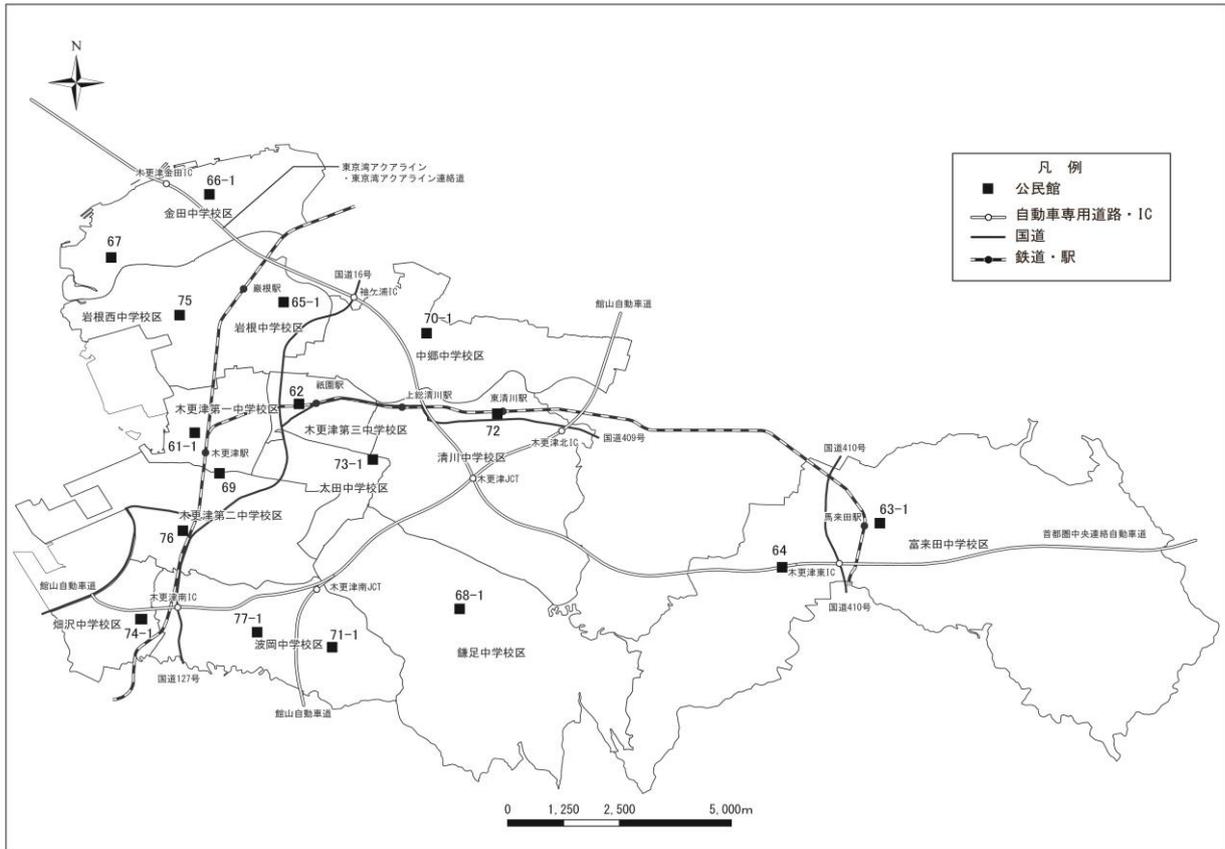
- 「公民館」は市民にとっての最も身近な社会教育施設として、主に地域住民の学習ニーズや地域の実情に応じた各種の事業を実施すると共に、多様な学習機会の提供を行っています。
- 主な室構成としては、集会室や研修室、学習室などのように多目的でも利用できる部屋と、調理実習室のように特定用途に利用するための部屋があります。また、富岡公民館及び金田公民館畔戸分館、文京公民館を除いた全ての公民館に図書を設置しています。
- 富来田公民館、岩根公民館、金田公民館、鎌足公民館、中郷公民館、八幡台公民館、清見台公民館、畑沢公民館、波岡公民館では、それぞれ出張所または連絡所との複合施設となっています。
- 公民館（金田公民館畔戸分館を除く）は、災害時の避難所に位置づけています。

図表 2-5 3 公民館の一覧

施設 No.	施設名	所在	避難場所指定	延床面積 (㎡)		竣工年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
61-1	中央公民館	中央1-15-4	避難所	2,698.4	1,689.7	1975	41	RC造	必要(予定なし)	青年の家と複合
62	西清川公民館	永井作2-11-12	避難所	733.6	—	1989	27	RC造	不要	
63-1	富来田公民館	真里谷110	避難所	2,268.3	2,211.3	2001	15	RC造	不要	富来田出張所と複合
64	富岡公民館	下郡1770-1	避難所	265.2	—	1986	30	RC造	不要	
65-1	岩根公民館	高柳3-2-1	避難所	564.1	543.0	1975	41	RC造	診断予定	岩根連絡所と複合
66-1	金田公民館	中島1985	避難所	534.7	526.1	1976	40	RC造	予定なし	金田出張所と複合
67	金田公民館畔戸分館	畔戸230	指定なし	95.6	—	1974	42	W造	診断予定	
68-1	鎌足公民館	矢那899-1	避難所	514.2	506.6	1979	37	RC造	診断予定	鎌足出張所と複合
69	文京公民館	文京2-6-54	避難所	549.9	—	1980	36	RC造	診断予定	
70-1	中郷公民館	井尻789	避難所	563.7	549.1	1980	36	RC造	診断予定	中郷出張所と複合
71-1	八幡台公民館	八幡台4-2-1	避難所	635.2	610.2	1980	36	S造	診断予定	八幡台連絡所と複合
72	東清公民館	笹子469-1	避難所	572.1	—	1981	35	RC造	不要	
73-1	清見台公民館	清見台南5-1-29	避難所	2,151.4	714.5	1982	34	RC造	不要	清見台連絡所と複合
74-1	畑沢公民館	畑沢1053-12	避難所	658.5	624.5	1983	33	RC造	不要	畑沢連絡所と複合
75	岩根西公民館	江川934-1	避難所	663.6	—	1985	31	RC造	不要	
76	桜井公民館	桜井新町4-2	避難所	1,045.0	—	2002	14	RC造	不要	
77-1	波岡公民館	大久保5-7-1	避難所	773.1	726.4	1992	24	RC造	不要	波岡連絡所と複合

※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

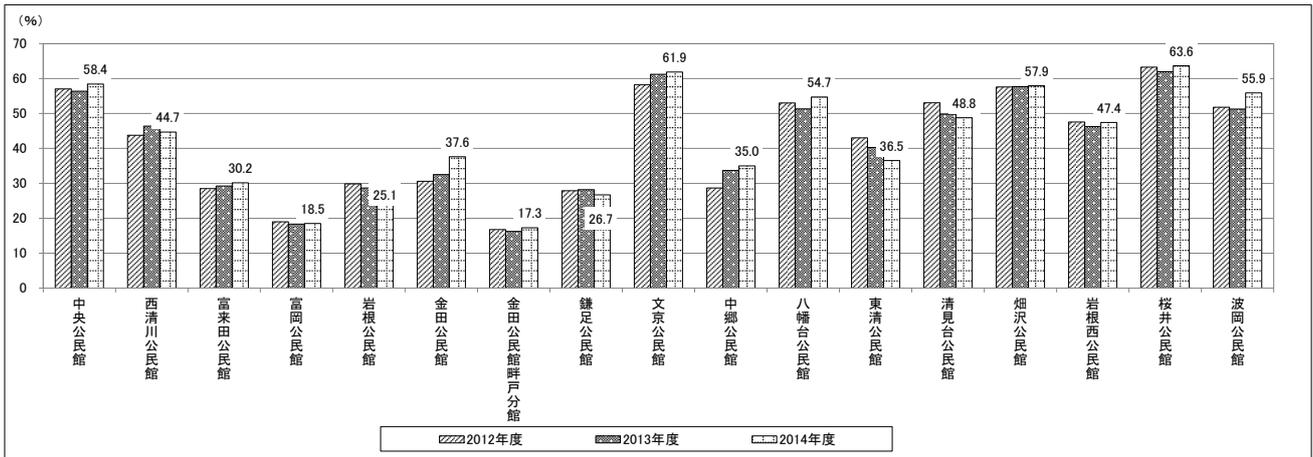
図表 2-5 4 施設の配置状況



(2) 現状及び課題

- 築後30年以上を経過している建物が63.4% (12棟、8,798.6㎡) を占めており、建物や設備の老朽化が進んでいる状況にあります。また、自家用車でアクセスする利用者が多い中、駐車場の不足が課題となっている施設が多く挙げられます。
- 中央公民館は耐震性能が不足しているため、早急に機能の移転が必要となっています。
- 施設稼働率としては、10公民館 (17館中) が50%以下の稼働状況となっています。室別の稼働率を比較すると、集会室や研修室などの稼働率が高い一方、調理実習室や和室、茶室等の特定用途の目的室は稼働率が20%以下と低い状況にあります。
- 施設予約は、直接公民館で受け付けている状況にあることから、今後は利便性を向上させるため、インターネットにより自宅等から予約できるようにするなどの検討が必要となっています。

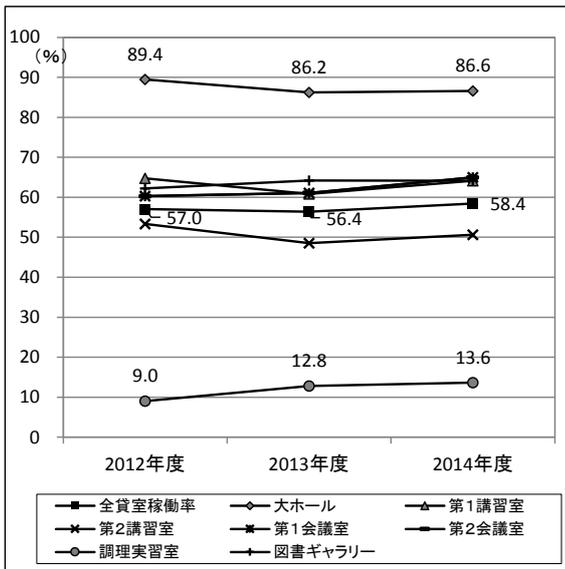
図表 2-5 5 施設稼働率の比較



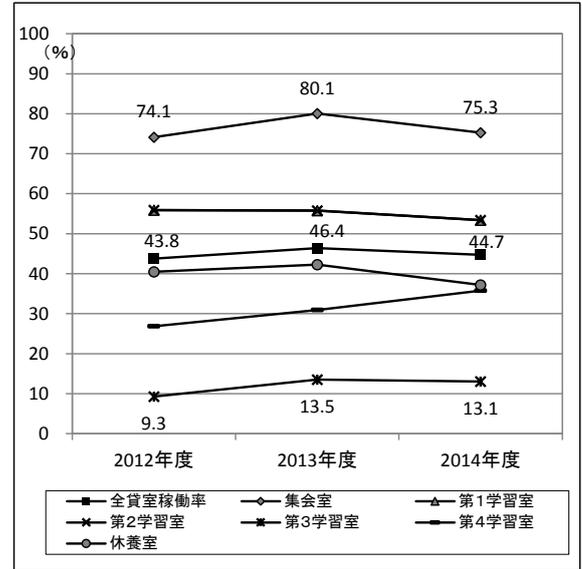
※この施設稼働率の統計集計方法は、利用する時間帯により部屋ごとに一日を午前・午後・夜間に区分し、一日を3件とし集計したもので、「利用数/利用可能件数(分母: 879 H26実績)」により利用可能な件数に対して、どのくらい利用しているのかを示したものです。

図表 2-5 6 各公民館の施設別稼働率の比較

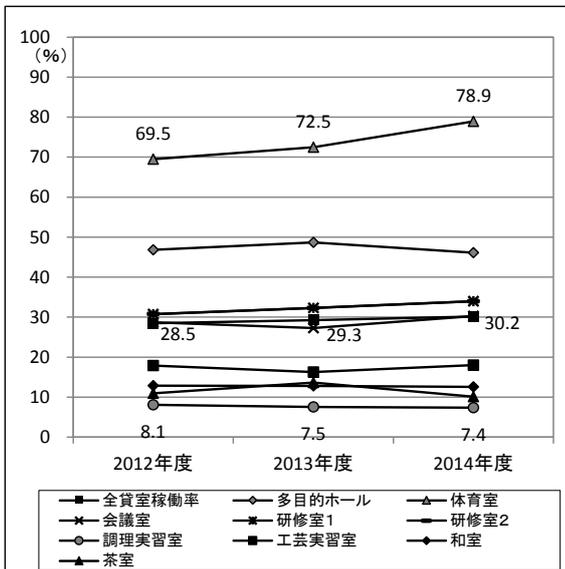
<中央公民館>



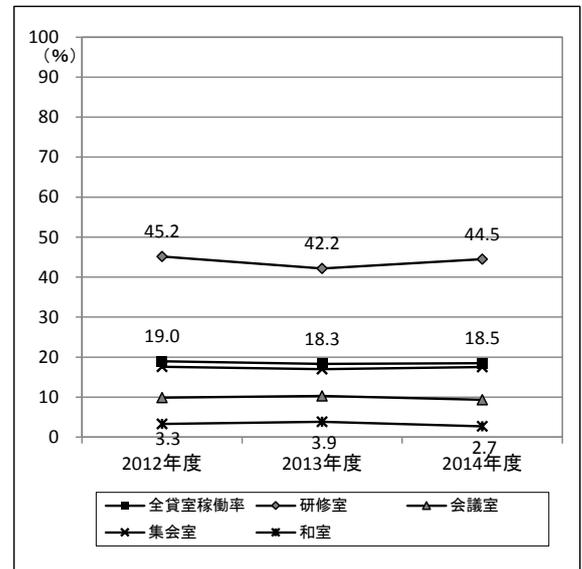
<西清川公民館>



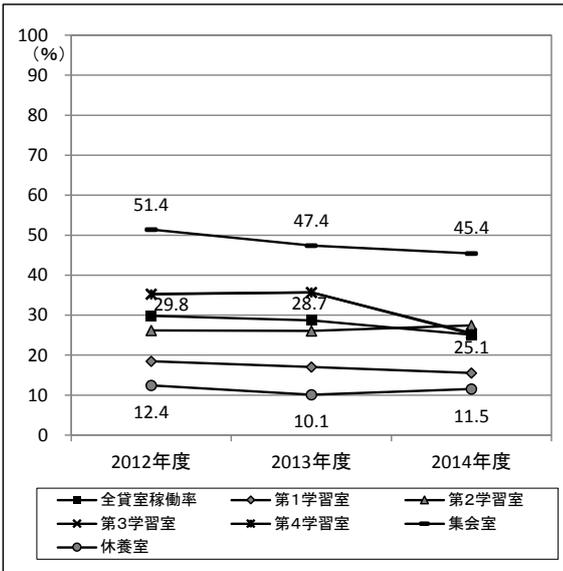
<富来田公民館>



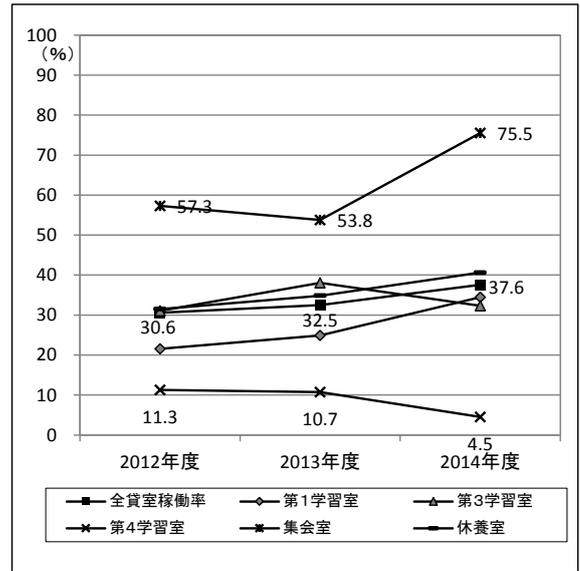
<富岡公民館>



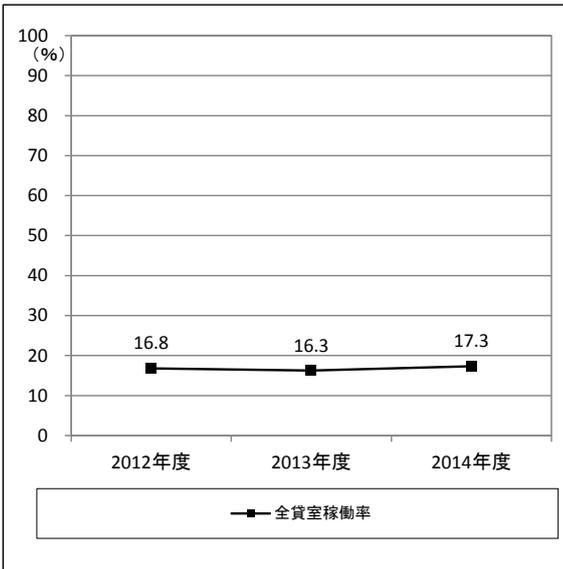
<岩根公民館>



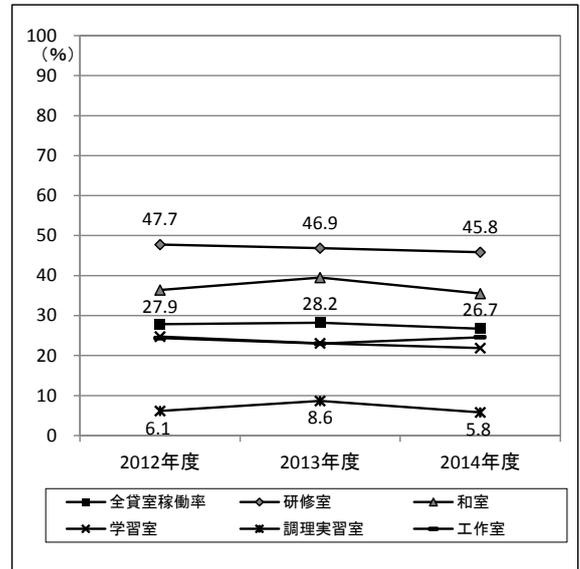
<金田公民館>



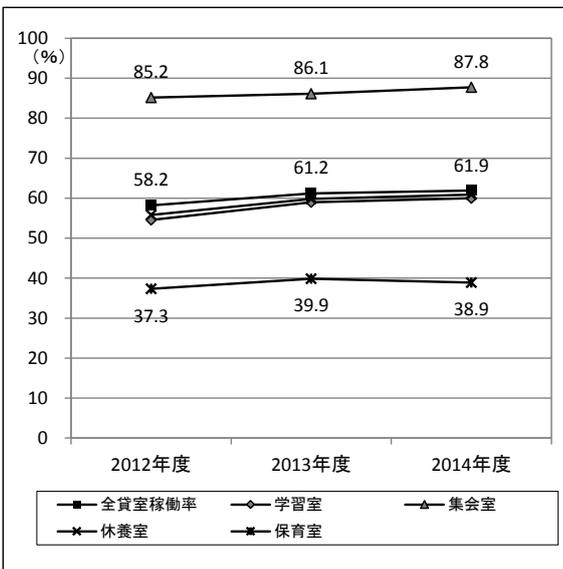
<金田公民館畔戸分館>



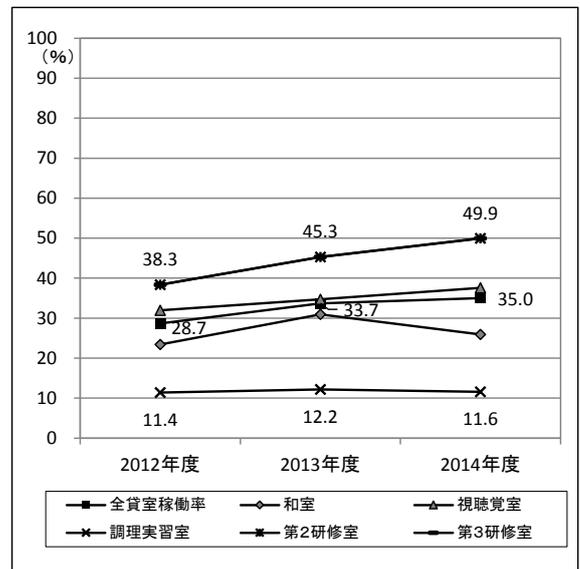
<鎌足公民館>



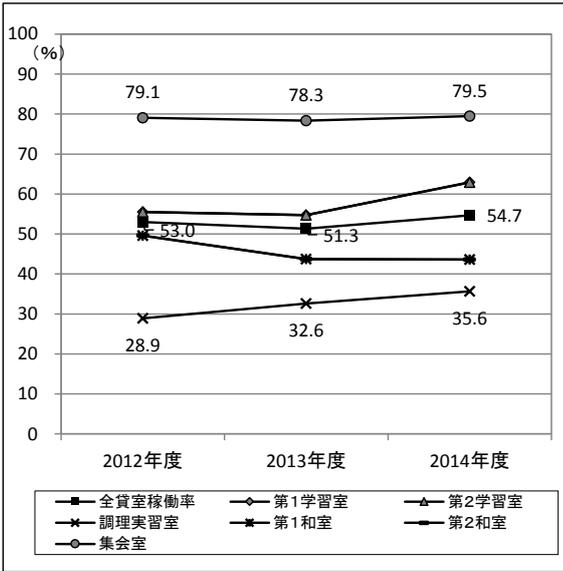
<文京公民館>



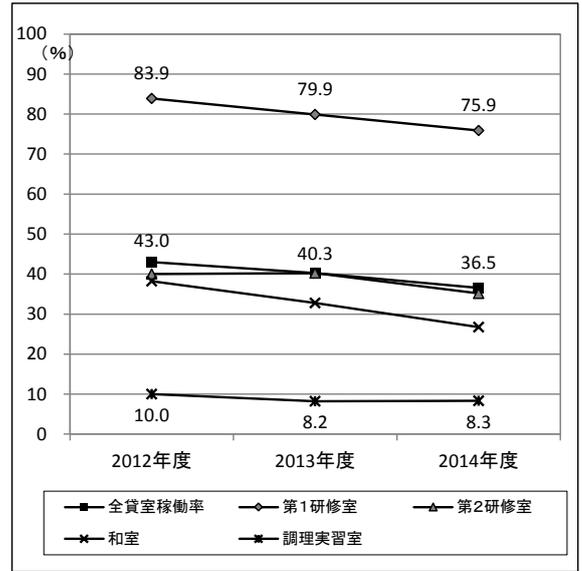
<中郷公民館>



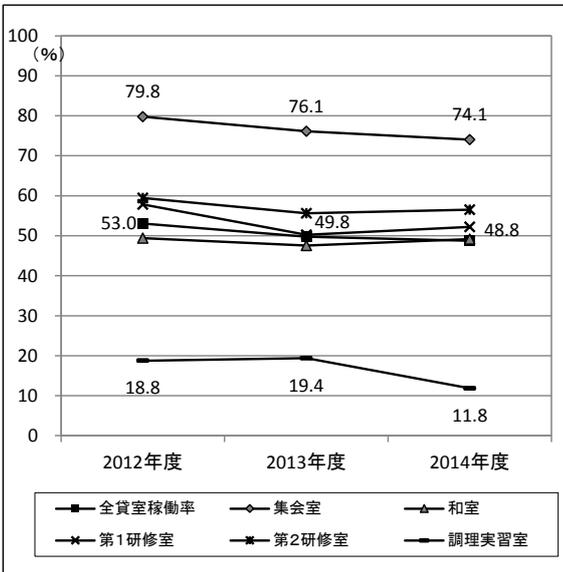
<八幡台公民館>



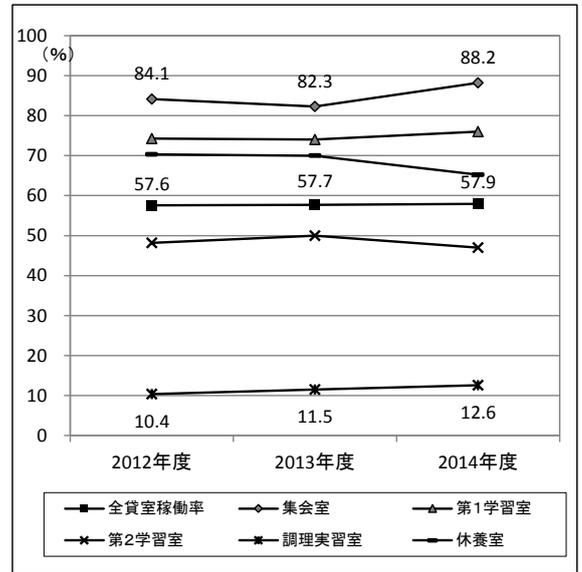
<東清公民館>



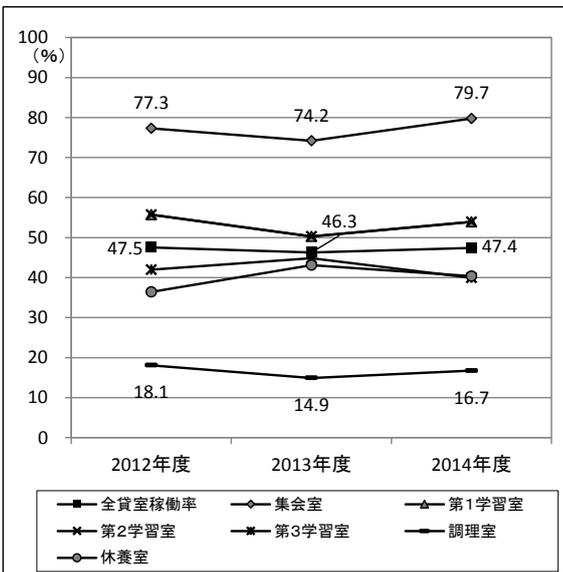
<清見台公民館>



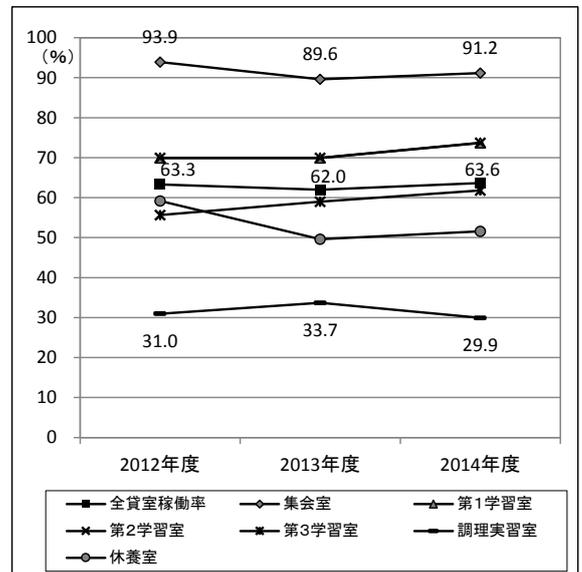
<畑沢公民館>



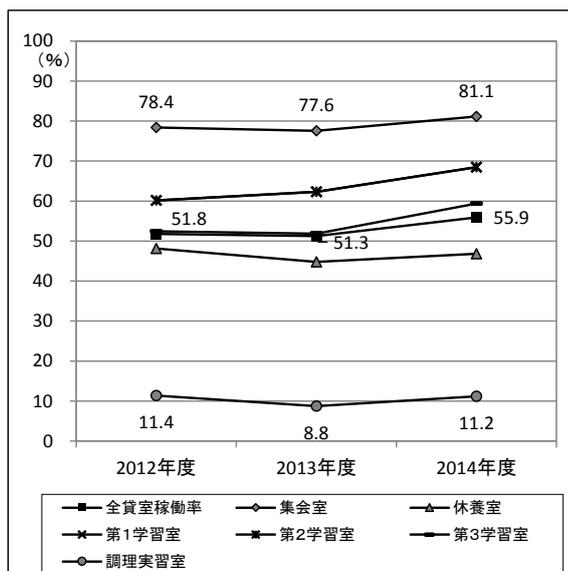
<岩根西公民館>



<桜井公民館>



<波岡公民館>



(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表2-57**のとおり設定します。
- 地域の絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けて、公民館と学校、その他施設の複合化を進めることにより、地域拠点としての機能向上を図ります。
- 公民館の配置については、1中学校区に1公民館を基本に配置してきましたが、今後は、10公民館（17館中）が50%以下の稼働状況であること、また、「都市計画マスタープラン」において、旧行政区の「木更津」、「波岡」、「清川」、「岩根」、「鎌足」、「金田」、「中郷」、「富来田」の8地区を地域別構想の区分としていることなどから、8地区を基本に、現在の17施設の統合を進めます。
- 公民館を集約した場合においても、各地域での市民活動（自治会、まちづくり協議会、自主防災活動など）やコミュニティ形成について、継続して行われるよう調整を図っていくものとしします。
- 中央公民館は耐震性能が不足しているため、他の公共施設などへ仮移転します。
- 小中学校と公民館を複合化する際は、子どもたちの学校教育活動中の地域の方とのふれあいなど、教育・文化活動の交流により、学校教育と社会教育が相互に発展できる施設となるよう計画します。

図表2-57 再配置実行プラン

施設No.	施設名	施設面積(m ²)	短期・中期・長期(2017~2046)	
			基本方針	面積増減(m ²)
—	公民館 17館	12,626.4	<ul style="list-style-type: none"> ■耐用年数等による建替えの際は、都市計画の地区区分である木更津、波岡、清川、岩根、鎌足、金田、中郷、富来田の8地区を基本に統合を進める ■統合の際は、小・中学校との複合化を基本とする 	▲ 4,600.7
面積増減(m ²)				▲ 4,600.7

5-3. 博物館

(1) 施設概要

- 「旧金鈴塚遺物保存館」は、6世紀後半に造られた金鈴塚古墳から出土した、東国一絢爛な副葬品（国重要文化財）を展示していた施設です。国内唯一の金鈴をはじめ、その他の文化財を展示していましたが、平成20(2008)年に閉館しています。
- 「指定文化財旧安西家住宅」は、市内草敷の農家を移築復元したものであり、江戸時代中期創建の建築物として展示しています。きさらづ文化財ガイドボランティアの会と連携して、ガイドを実施しています。
- 「郷土博物館金のすず」は、平成20(2008)年4月に千葉県から移譲を受けた施設で、重要文化財上総木更津金鈴塚古墳出土品や重要有形民俗文化財上総掘りの用具を中心に、考古、歴史、民俗資料や絵画、書などの美術品を展示しており、本市及び周辺地域の歴史や文化、芸術を学ぶことができます。

図表 2-58 博物館の一覧

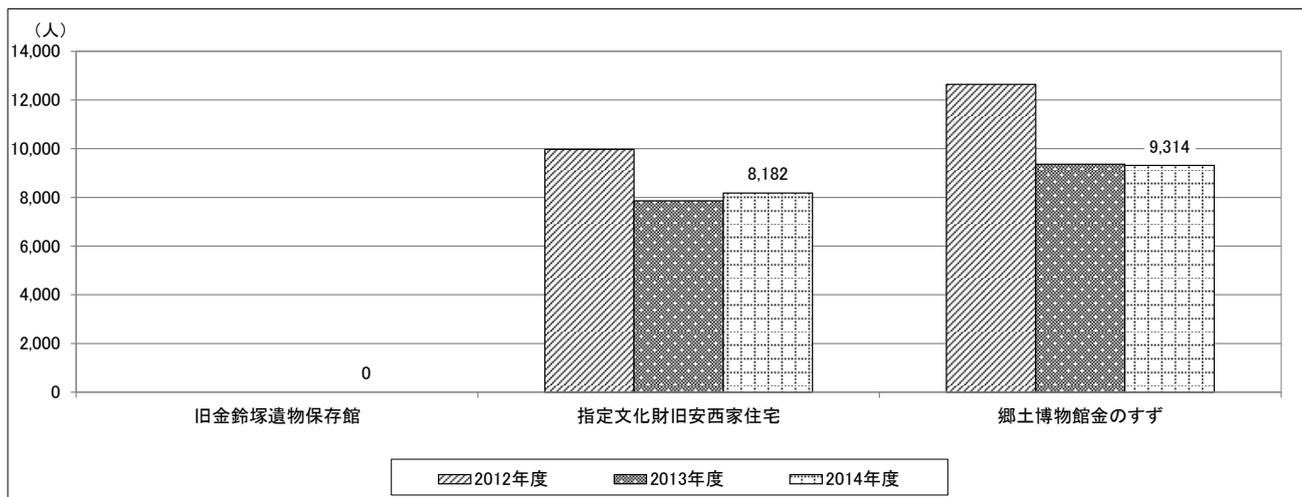
施設 No.	施設名	所在	避難場所指定	延床面積 (㎡)		竣工年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
79	郷土博物館金のすず	太田2-16-2	指定なし	1,944.4	—	1970	46	RC造	実施済	
80	指定文化財旧安西家住宅	太田2-16-2	指定なし	218.5	—	1982	34	W造	不要	
81	旧金鈴塚遺物保存館	太田2-16-2	指定なし	356.7	—	1962	54	RC造	不要	

※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

(2) 現状及び課題

- 郷土博物館金のすずは築後46年を経過し、老朽化が進行しています。
- 旧金鈴塚遺物保存館は築後54年を経過し、老朽化が著しい状況にありますが、収蔵容量の都合により金のすずに収蔵できない資料等を保管しているため、現在、建物維持しています。
- 旧安西家住宅は市指定文化財で、歴史的な建物であるため、茅葺屋根などの計画的な補修を行っていく必要があります。

図表 2-59 郷土博物館金のすず利用状況



(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表 2-60**のとおり設定します。
- 郷土博物館金のすずは、当面は運営を継続しますが、今後の中期的な建替え時期の際は、廃止・解体します。建物内にある収藏品等は、展示スペースの集約などにより床面積の削減を図り、他の施設との複合化や、空き施設を改修し移転します。
- 旧金鈴塚遺物保存館に保管している収藏品等は他の空き施設に移転し、建物は廃止・解体します。
- 上記とは別に、博物館自体の今後のあり方（対象となる市民の範囲や、各市での機能のすみわけなど）を広域での連携を含め近隣市と調査・研究をしていきます。

図表 2-60 再配置実行プラン

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017~2026)		中期(2027~2036)		長期(2037~2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
79	郷土博物館金のすず	1,944.4	■改修		■廃止、複合化または空き施設を改修し機能移転 (1,458.3㎡)	▲ 486.1		
80	指定文化財旧安西家住宅	218.5	■老朽度合いに応じ修復		■老朽度合いに応じ修復		■老朽度合いに応じ修復	
81	旧金鈴塚遺物保存館	356.7	■廃止、空き施設に機能移転(178.4㎡)	▲ 178.3				
計		2,519.6	短期(10年)	▲ 178.3	中期(20年)	▲ 486.1	長期(30年)	0.0

※施設No.81 は収蔵スペースとして半分程度確保します。

5-4. その他社会教育施設

(1) 施設概要

- 青年の家は、青少年の徳性のかん養及び教養の向上を図るために設置した青少年育成施設で、青少年の学習活動、生活指導および青少年指導者への研修等を行っています。
- 少年自然の家キャンプ場は、少年の健全な育成及び市民相互の交流を図るために設置された青少年教育施設で、指定管理者による管理運営を行っています。豊かな自然環境の中で青少年が生き生きとした野外活動を体験することにより、心身の鍛錬・集団の規律・協同・友愛・奉仕の精神を身につけ、生きる力と豊かな人間性を育む場となっています。
- 潮見資料庫及び富来田資料庫は、本市の歴史を紐解く埋蔵文化財の保管等を行うための施設です。その他、旧大久保団地汚水処理場施設の一部を埋蔵文化財や民俗資料の保管場所として活用しています。

図表2-61 その他社会教育施設の一覧

施設No.	施設名	所在	避難場所指定	延床面積 (㎡)		竣工年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
61-2	青年の家	中央1-15-4	避難所	2,698.4	1,008.7	1975	41	RC造	必要(予定なし)	中央公民館と複合
82	少年自然の家キャンプ場	真里谷5343-8	指定なし	849.5	—	1985	31	S造	不要	
83	潮見資料庫	潮見7-3-7	指定なし	762.8	—	1989	27	S造	不要	
84	富来田資料庫	真里谷字清水場95-3	指定なし	188.9	—	1974	42	S造	不要	
189-1	旧大久保団地汚水処理場	大久保1-1-1	指定なし	600.0	400.0	1973	43	RC造	予定なし	旧大久保団地汚水処理場(下水処理施設)と複合

※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

(2) 現状及び課題

- 青年の家（中央公民館）は、耐震性能が不足しているため、早急に機能の移転等が必要になっています。
- 少年自然の家キャンプ場は、築後30年以上を経過しています。平成26(2014)年度時点の年間利用者数は1,982人であり、利用者1人あたりのかかる経費は、3,757円となっています。
- 埋蔵文化財発掘出土品の保管数は、潮見資料庫、旧大久保団地汚水処理場などで合わせて1万箱を超えており、新たな発掘出土品を収容することができない状況にあります。その他、富来田資料庫及び旧大久保団地汚水処理場は施設が老朽化しており、潮見資料庫との機能集約を図っていく必要があります。

(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表2-62**のとおり設定します。
- 青年の家（中央公民館）は、耐震性能が不足しているため、他の公共施設などへ仮移転します。
- 少年自然キャンプの家は、当面は運営を続けますが、中長期的に建物が老朽化した際には、現在でも自然体験教育（授業等）で多くの児童が利用している千葉県立亀山少年自然の家（君津市笹字片倉1161-1）等で代替が可能かどうか利用団体等と協議をしていきます。
- 少年自然キャンプの家は、今後、青少年育成団体や学校教育機関などが使用する場合を除き、管理に要する費用や光熱水費（土地・建物代、施設改修に係る経費を除く）などを利用者負担とすることとし、使用料を見直します。
- 潮見資料庫は、中長期的に建物が老朽化した際には、建物を廃止・解体します。建物内にある収蔵品等は、空き施設を改修して移転します。また、現在潮見資料庫で行っている、埋蔵文化財に係る発掘調査、報告書作成等と併せ、出土品・資料の公開閲覧貸借業務を行えるよう「埋蔵文化財センター」としての機能を持たせることも検討します。
- 富来田資料庫は機能を移転した上で廃止・解体します。
- 旧大久保団地汚水処理場は機能を移転した上で廃止・解体します。

図表 2-62 再配置実行プラン

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期・中期・長期(2017～2046)					
			基本方針				面積増減 (㎡)	
61-2	青年の家	1,008.7	■耐用年数等による建替えの際は、都市計画の地区区分である木更津、波岡、清川、岩根、鎌足、金田、中郷、富来田の8地区を基本に統合を進める ■統合の際は、小・中学校との複合化を基本とする				▲ 504.4	
面積増減 (㎡)							▲ 504.4	
施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017～2026)		中期(2027～2036)		長期(2037～2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
82	少年自然の家キャンプ場	849.5	■一部廃止、一部改修	▲ 173.9			■関係機関と協議	▲ 675.6
83	潮見資料庫	762.8	■大規模改修				■廃止、空き施設を改修し機能移転(762.8㎡)	
84	富来田資料庫	188.9	■廃止、空き施設に機能移転(188.9㎡)					
189-1	旧大久保団地汚水処理場	400.0	■廃止、空き施設に機能移転(400.0㎡)					
計		3,209.9	短期(10年)	▲ 173.9	中期(20年)	0.0	長期(30年)	▲ 675.6